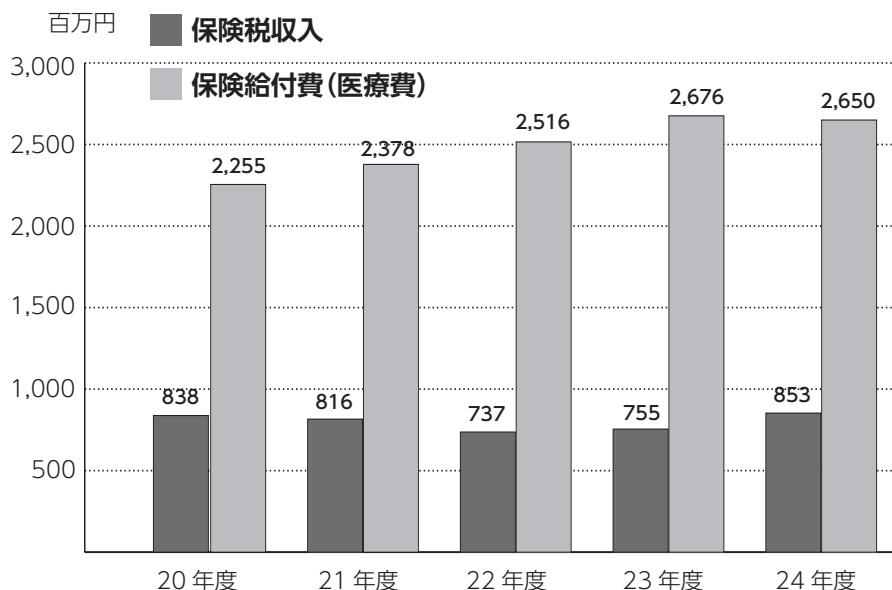
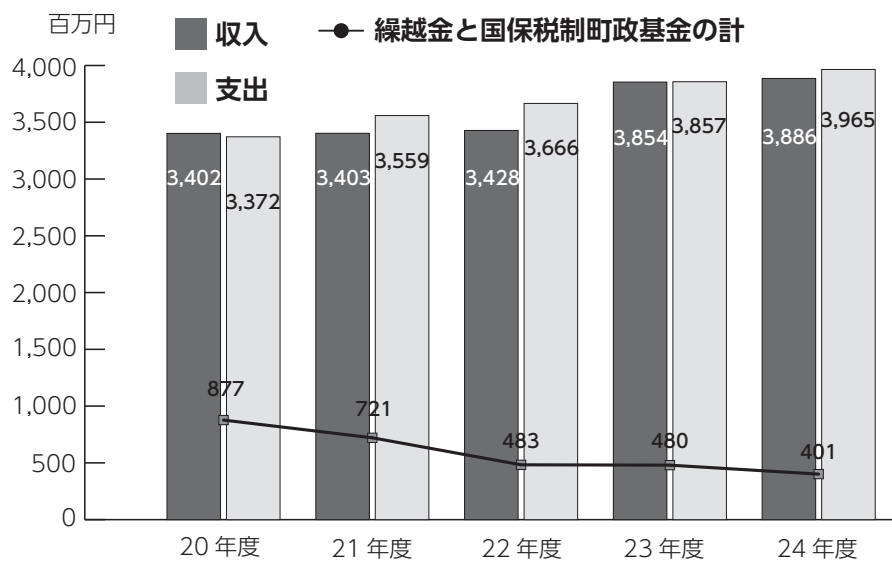


保険税収入額と保険給付費の比較



国保特別会計 厳しい財政運営が続く

単年度収支 (年度ごとの国民健康保険特別会計の収支状況)



町の国保財政の現状

町国民健康保険特別会計は、保険税率の見直しによる税収の増加と保険給付費の伸びの鈍化などで、平成23年度以降の決算は平成22年度以前と比べると落ち着いてはいますが、依然、単年度

ベースでの赤字が続いており、予断を許さない状況です。具体的に、単年度収支では、平成23年度決算で約300万円、平成24年度決算では約7,900万円の赤字決算になっています。

平成23年度決算では、国や県からの補助金が予定額を

繰越金と積立金の減少

町国民健康保険特別会計には、繰越金と国保財政調整基金(基金など)があります。赤字決算となった場合でも今のところ支払い不能にはなっていません。しかし、その基金なども、平成20年度には8億7,700万円ありましたが、平成24年度決算では約4億円となり、5年間で約4億7,700万円も減少しました。このまま推移れば繰越金と基金の残高がなくなり、単年度の赤字に対応できない恐れがあります。

町の取り組みとお願い

町では、保険税の収納率向上のために滞納対策に取り組んでいます。また、歳出面は医療費の適正化を図るため、健診の受診を奨励し、強化すること、病気の早期発見・早期治療を進めています。加入者のみなさんのご協力をよろしくお願いします。